

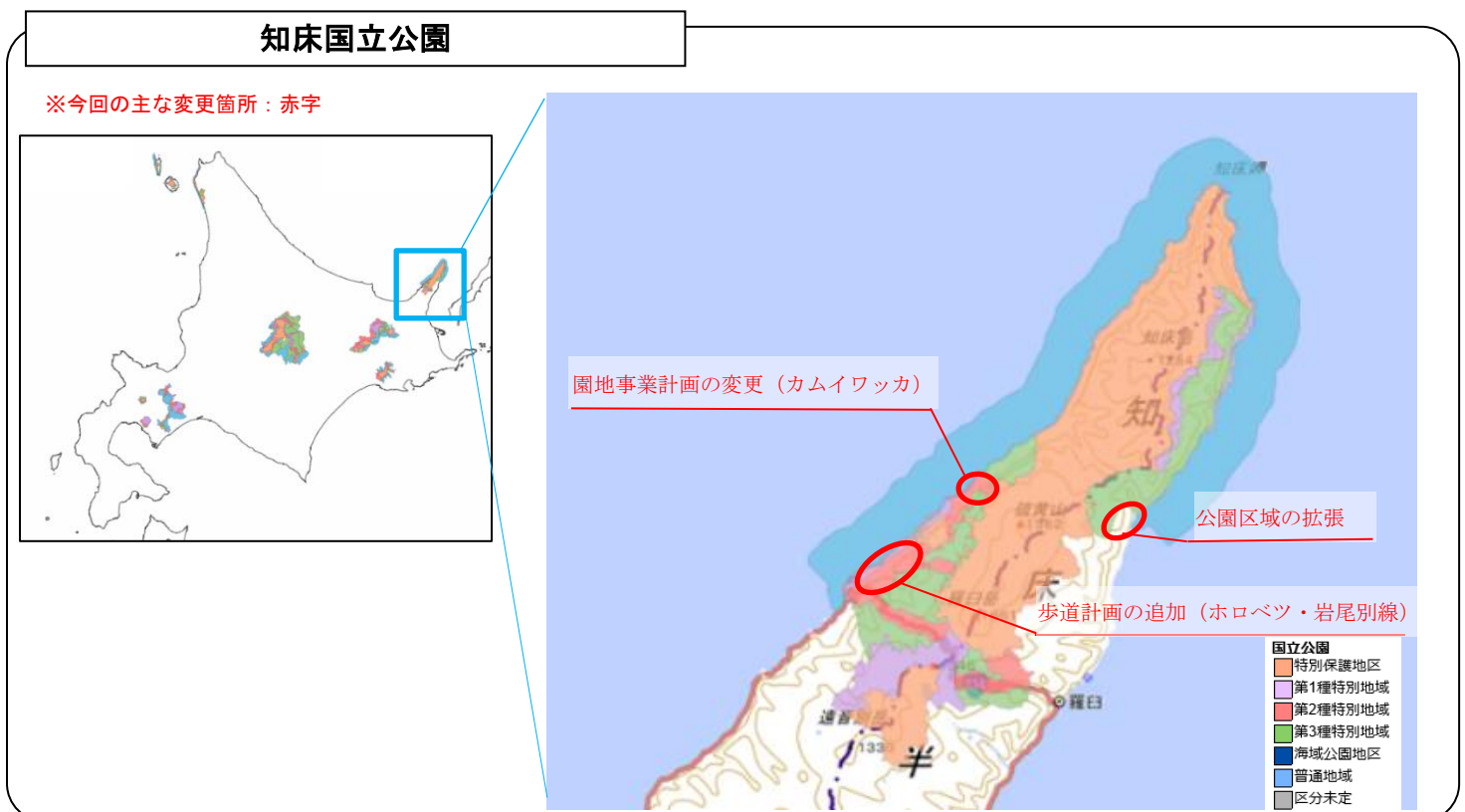
知床国立公園 公園区域及び公園計画の変更について

1. 背景

知床国立公園は、知床半島の一部及びその沖合の海域からなり、北半球で最も低緯度に位置する季節海氷域、火山活動と海食により形づくられた急峻な山々と海食崖、高山帯から海岸部まで連続する多様で自然性の高い植生、多様な湿原・湖沼群、ヒグマ等の大型ほ乳類、海ワシ類や海鳥類、アザラシ類、鯨類等の海棲ほ乳類やサケ科魚類といった生物相など多様な自然景観の要素が原生的な状態で維持されており、多様で優れた自然美を有していることが特徴です。

本公園は昭和 39 年 6 月 1 日に指定され、昭和 59 年 6 月 15 日には公園区域及び公園計画の全般的な見直しを実施、平成 7 年 2 月 21 日に第 1 次点検を実施しています。

今回の第 2 次点検では、第 1 次点検以降における本地域を取り巻く社会情勢変化や国立・国定公園総点検事業の結果を踏まえ、必要な変更を行うものです。



2. 変更のポイント

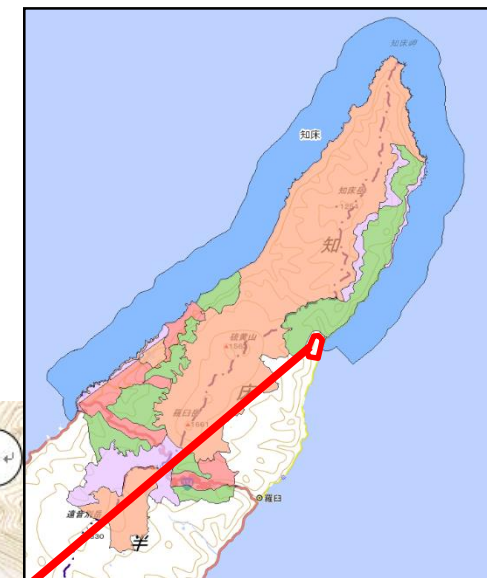
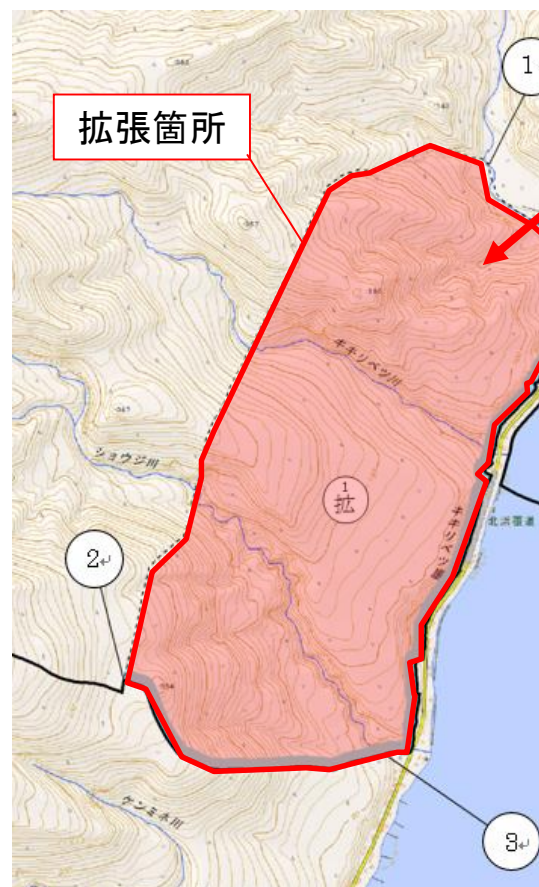
キキリベツ川及びショウジ川の下流一帯を含む地域を公園区域に編入します。

3. 変更の詳細

- ・ 公園区域の拡張
北海道目梨郡羅臼町の一部（第 1 種特別地域） 318ha
- ・ 保護規制計画の変更
第 1 種特別地域の拡張 326ha
（第 3 種特別地域→第 1 種特別地域への振替 8ha を含む）
- ・ 道路（歩道）
変更：ホロベツ・岩尾別線

○公園区域の拡張

- ・羅臼町ルサ地区に隣接する「キキリベツ川及びショウジ川の下流域
一帯を含む地域」を公園区域に編入(318haの拡張)。
- ・エゾマツ・トドマツからなる北方針葉樹林や針広混交林等の自然林が
残存し、シマフクロウ、オジロワシ、ヒグマ等が生息

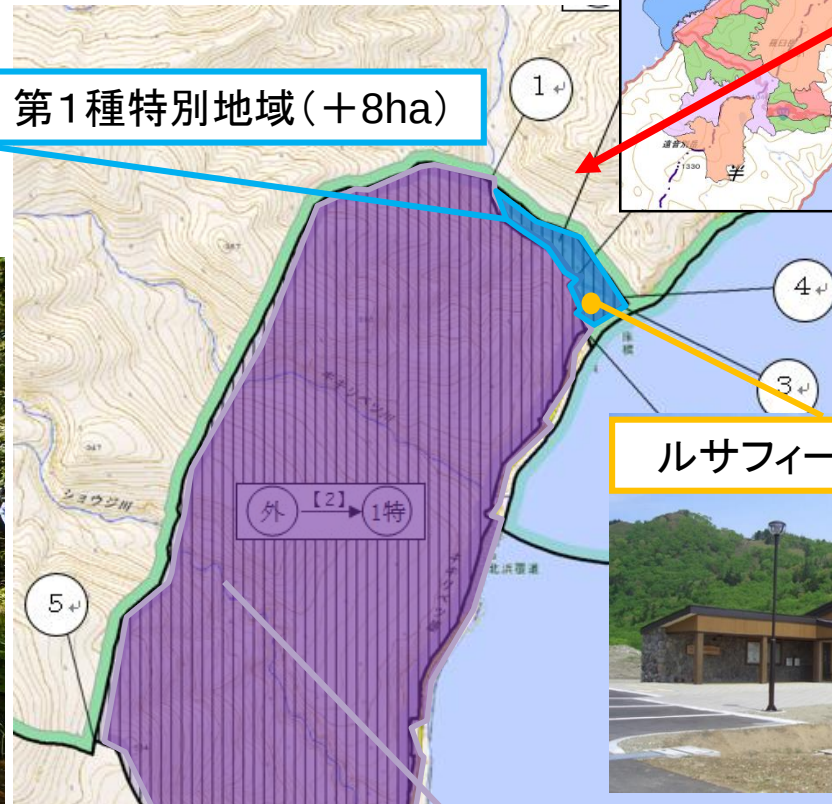
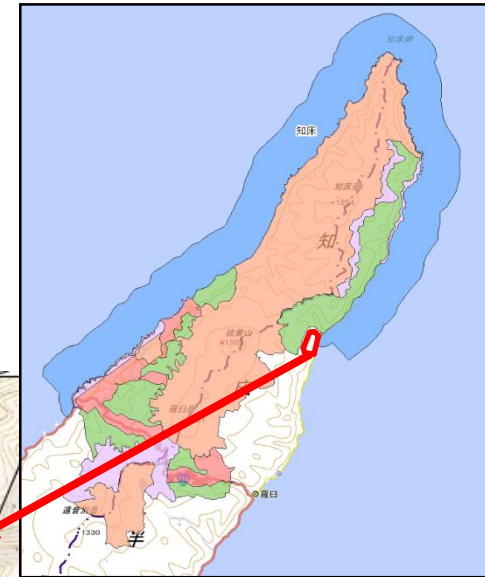


保護規制計画の変更

○保護規制計画の変更

- ・第1種特別地域(+326ha)
(第3種特別地域からの振替+8ha、特別地域の拡張+318ha)
- ・第3種特別地域(-8ha)
(第1種特別地域への振替-8ha)

第3種特別地域(-8ha) ⇒ 第1種特別地域(+8ha)



ルサフィールドハウス



公園外 ⇒ 第1種特別地域(+318ha)



ルサ川

① 利用施設計画の追加、変更

○道路(歩道)の追加

●ホロボツ・岩尾別線(北海道斜里郡斜里町)〔第2種特別地域〕

・「しれとこ100平方メートル運動地」内に歩道計画を追加。

当該運動の普及啓発のため、H29より一般開放。今後、標識等の整備を図っていく。



② 利用施設計画の追加、変更

○単独施設(園地)の変更

●カムイワッカ園地(北海道斜里郡斜里町)〔第2種特別地域〕

- ・既存の整備方針を変更。
- ・カムイワッカ湯の滝周辺を整備方針に追記。(現行は硫黄山登山線起点のみ)

